

●：2つ以上の意見

地域コミュニティ

地域コミュニティは他の自治体と比較して発達している？

市内で地域の問題解決のために活動している人がいる、組織がある

自治会活動が少なくなっている

市内で地域の問題解決のために活動している人、組織が認知されていない

コミュニティ参加へのきっかけづくり（学生から社会人になったとき等）

地区協議会が活発(地域によるかもしれませんが)

各自治会で街美化活動を積極的におこなっていること

自治会、町内会への参加者の減少

若者も地域コミュニティに興味を持ってもらう方策が必要では

ネットワークや仕組みを統括する機関や組織がない

さまざまなレイヤーのコミュニティ、また拠り所がある

市外からの転入者、市内永住者が混在している

地域コミュニティの構成員や参加している人の固定化

地域コミュニティ・レクが広報しきれていない

マンション・アパートの増加による、コミュニティに触れない人の増加（いざというときの駆け込み場所の不在、災害時の声のかけ合いや連携がどこまで機能するか）

市職員と市民のコミュニケーションの機会が多い（と、HPや市報を見る限り感じます）

市民活動支援センター（中間支援）

新規で地域コミュニティに参画するハードルが高い（新規参画者の能動的な認知・行動に頼っている）

自治会に入れるような案内が必要

市のコミュニティに入る仕組みとしてマンションのコミュニティを活用

ふれあいの家（18施設）

無料で使える・予約なしで使えるスペースあり

市内で活動している人同士が繋がるネットワーク、協働する仕組みが不足している

独居が増える→駆け込み寺があることの周知を強める必要

自治会やマンション管理組合に入るメリットが不明確

ふれあいの家は予約が必要

関心があっても中に入りづらい

活動する場がもっとあれば

地区協の活動は毎年恒例のものばかりになっていないか

核家族や高齢者の独身世帯も上記地域コミュニティに巻き込み、災害時の連絡網とする（現状の自治会を刷新（もしくは新しいネットワークを構築）し、若い世帯や市外からの転入者も災害時に孤立しないようにする）

デジタルスポーツイベント・レクリエーションの開催などから新しいスポーツ様式に関心を持ってもらうのも面白いかもしれません。

市民活動者同士が繋がることができるプラットフォームサイトを官民合同で制作・管理（ちょみっとがイメージに近いが、双方向のコミュニケーションを取れるプラットフォームが必要）

市民の安否確認ができるサービス構築  
・災害時に自身の安否や緊急対処を要望する事等を登録し、市職員や第三者がタイムリーに確認できる。素早い対処に繋げる（緊急時の市専用のSNSのイメージ）

地区協で防災訓練を行っているところがある。いざという時に隣近所の顔が分かっているだけでなく、防災意識を一緒に高められるのは良い

消防団  
→地域コミュニティの広がりにつなげる

市民活動者へのIT支援を安価で行い（オンラインMTGやSNSの活用方法を支援）、活動の場を広げる

オンラインを活用した取組

人権・LGBTQ

男女共同参画推進センターがある

パートナーシップ制度

人権啓発の充実を図る必要がある

LGBTへの理解

担当する課が決まっていない（動き出してない）

## 目指したい姿

- ・いろいろなひとがアクセスしやすいと集いやすくなる
- ・ゆるい近所づきあい（ハードルをさげる）
- ・いろいろな場所を知ってもらえるようにする
- ・外部から来た人を入りやすくする
- ・災害の面からもコミュニティ必要

## 強み

- ・いろいろなレイヤーのコミュニティがある
- ・中心的に動いている人がいる（精力的に活動している人（=個人）が多い）⇒いろいろなつながりが増えていく
- ・自治会キャンペーンをやっている
- ・市民課窓口で自治会の情報を伝えている
- ・自治会に対して助成金が出ている
- ・学区単位での地域団体（ex健全育成推進地区委員会）
- ・自治会以外に地域で活動している団体がある

## 弱み

- ・デジタル化⇒ハードルが下がることにつながる
  - ・自治会に入る人が減っている（個人情報などのハードル）
  - ・自治会に入るメリット？？？知り合いがいれば済むかも？...地域団体・自治体に入っていると多世代との交流も生まれ、知り合いが増える
- ⇒自分の出番が広がっていくことにつながる

●：2つ以上の意見

スポーツ

味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザなどの大規模スポーツ施設があること。	公園・スポーツ施設が充実している	大町スポーツ施設	川沿いでジョギングできる(利用しやすい)	福祉分野・スポーツ分野関係団体による協議体が存在し、障害者スポーツの振興に向けた意見交換や事業が実施されている。
体育施設数が近隣自治体の中でも上位であること	スポーツ関連施設が充実しており、スポーツイベントの拠点になりやすい	市民が使いやすい場所の整備が必要	ジョギングやサイクリングをしていて楽しめるような仕組み	障害福祉・スポーツ振興の横断的取り組みの充実(パラスポーツ体験など)
味の素スタジアム、武蔵野の森スポーツプラザ等国際大会や大規模大会を開催できる施設の存在	世界に誇れる充実したスポーツ施設を持つ「武蔵野の森総合スポーツプラザ」「味の素スタジアム」	充実したスポーツ施設を持ちながら、利用する市民が限られている 「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は大きい施設がゆえに一般市民からは敷居が高く感じる	高齢者のフレイル予防のための運動	日本車いすバスケットボール連盟との協定に基づいた事業が実施されている。
味の素スタジアム調布体育室が「東京都パラスポーツレーニングセンター」として整備される予定である	スポーツイベントが開催される拠点、飛田給駅周辺の駅開発(店舗、ホテルなど)が不十分	「個人で」施設をつかうイメージはない	スポーツ施設利用者が、市内でお金を落とす(飲食、物品販売)仕組み作り	日本ブラインドサッカー協会との連携が図られている
調布市総合体育館へのアクセスが悪い ・駅から遠い ・駐車場費用が有料(市民は無料にしては)	味の素スタジアム、武蔵野の森スポーツプラザ等の使用について、市民であるが故に受けられる恩恵が多くない	スポーツ施設の予約枠が少ない(使える人に限り有)	高齢者スポーツ・障害者スポーツ	F C 東京との連携事業 障害者余暇活動支援事業ほりでーぶらんの実施
F C 東京の存在。 また、同チームに対する市のかわり方は良いと思う。(積極的に情報発信しているように思う)	FC東京のホームスタジアムがあること	施設利用ハードルの解消が必要	調布リトルの存在。(スポーツ、教育の面で与える影響が大きい)	障害福祉以外の横断的な取り組みを増やす
	FC東京との連携事業はスポーツ分野のみならず、様々な分野で30以上実施し、FC東京のノウハウを活用している。	施設の老朽化	東京2020大会を契機としたレガシー	パラハートちょうふの取組(地域共生社会に向けた)
		普段、スポーツをしない市民が約40%	オリンピック・パラリンピアン存在(調布市応援アスリート)	NTT東日本バドミントン部の活動拠点があり、連携事業を実施している。
		F C 東京との連携事業 ・子どもサッカー体験教室 ・あおぞらサッカースクール(障害児者向けスクール)等	地域にプロからアマまでスポーツ団体が数多くあり、触れられる機会が豊富	サントリーサンゴリアス東京と東芝ブレイブルーパス東京との協定を結び、連携事業を予定している。

レクリエーション

デカ盛りウォークラリー・ワンコインイベント・スクラッチカードなどのイベントを活用した市内店舗への地域経済への支援が豊富	興味を引くイベントを定期的 に実施(ここにいけばこれができる)	市民スポーツまつりや駅伝競走大会などの大規模イベントがある。	高齢者が気軽にできるスポーツへの参加啓蒙を朝の体操、ウォーキング(コミュニケーションの場)
	イベントの参加人口増加	個々人・団体がスポーツ・レクリエーションをしやすい環境が複数ある	近隣市との連携イベント(ラグビーフェスなど)
	導入に駅前広場を活用		

## 目指したい姿

- ・FC東京との地域連携をのばしていくことでまち自体が盛り上がる
- ・スポーツする人を増やす, スポーツに触れやすいまちづくり
- ・思い立った時に運動できる環境づくり
- ・健康づくり⇒健康寿命をのばす
- ・観光資源としてのスポーツ (プロのスポーツを楽しめるようなまち)
- ・高齢者や障害者, いろんなひとがスポーツを楽しめる環境を整える
- ・保育園や小学校と一緒にスポーツを楽しめる
- ・いろんなひとがアクセスできるように周知, 整備, 推進する

## 強み

- ・FC東京との地域連携, コラボ
- ・スポーツ施設がある
- ・資源が点在している (ハードの施設や河原)
- ・パラスポーツを推進している
- ・プロに携われる・教えてもらえる

## 弱み

- ・スポーツ施設を使うハードルがある, 使いかたが知られていない

## 生涯学習

近隣市でも上位の蔵書冊数を誇っていること。

様々な職業での経験・能力がある方が在住しており、その方々の経験・労力を引き出すことができる

生涯学習の機会が多い

市内の身近なところに図書館がある(全11館)

調布市への帰属意識が低い市民に対して、市の歴史文化のPR、生涯学習を行う団体への参加促進を行う余地がある。これにより帰属意識の高まりを期待できる

子どもから高齢者まで色々な人が参加できるプログラムが行政や民間から発信されている

生涯学習・サークルへの参加のハードル

生涯学習の講座等催し物は高齢者向けが多い気がする

広く認知されている調布のコンテンツが存在している・芸術(映画・鬼太郎)。

京王線沿線7市図書館連携事業

公立の学校が充実している

学習成果の活用

主に大型施設に充実した各種生涯学習の講座が行われている(例:国領駅前ビルのカルチャーセンター)

参加するのに電話やメールの方法しかない→いろんな人が参加できるような基盤が必要(オンラインの活用も)

相互友好協力協定締結大学との連携(7大学)

## PR

自発的に上記認知を促すような施策が不十分

若い活力の活用

職員の知識不足

広報がたりないと感じる

## 目指したい姿

- ・ デジタル化を進めることでいろんなひとがアクセスできるようにする
- ・ 調布市にいれば学びたいときに学べる ⇒ 将来的に役立つ知識を身につける
- ・ リタイアしたひとが講師になるのはおもしろそう, 相互で教えあうのもおもしろい

## 強み

- ・ ピースメッセンジャーの取組
- ・ 活動している人がいる
- ・ 地域の経営者もたくさんいる

## 弱み

- ・ ニーズと器がマッチしていない (働いている人が参加できる時間ではない等)
- ・ 活動を広められていない
- ・ ちょみっと (サイト) が活用されていない



● : 2つ以上の意見

芸術・文化活動のインフラ

たづくり・グリーンホール・仙川劇場といった施設が豊富

市内に大きな劇場やホールがあり、催し物が豊富

芸術・歴史文化資料・施設などの維持費

郷土博物館の施設・資料に水損の危険性(多摩川近くの立地)

歴史(郷土博)、文学と美術(実篤記念館)、現代アート(たづくり)と3つの異なる分野の博物館、展示施設がある。

市内に音楽ホール、図書館等必要な施設が揃っており、一定レベルのプログラムが開催されている

文化活動が活発に行われている・文化会館たづくり、グリーンホール、仙川劇場での活動

歴史、美術や文学の作品や資料を、郷土博、実篤記念館でリアルで見ることが出来る。(本物を身近で見られる)

桐朋学園があること

市内学校の校外学習で郷土博物館の展示見学・道具体験などの機会がある

武者小路実篤記念館、郷土博物館の存在

武者小路実篤記念館、実篤公園があること。

調布の文化・芸術を発信するミュージアムがない。例) 府中市美術館

歴史

芸術・文化

市内小学校で、地域の歴史を学ぶことが出来る機会がある→地域愛を深められる

歴史的文化財(神社仏閣など)が多い。

江戸から続いた街道文化の風情(寺社、宿、街道沿いの家の区画、一里塚等)が残っている

市内文化財に触れる機会が少ない

福祉作業所等との連携によりパラアート展を開催しているほか、年齢や障害の有無などにかかわらず誰もが楽しめるアート活動のワークショップを展開している。

下布田遺跡の活用

深大寺銅造釈迦如来像(白鳳仏)があること。

歴史的文化財、及びその良さが市内外の人々に認知されていない

てつみちの利用。・芸術を発信できる場に

グリーンホールや調布、国領駅などの駅前広場での催しが活発

近藤勇の史跡

市外からの転入者へ地域の歴史を間接的に伝える機会がない(直接的な啓蒙だとなかなか響かない)

武者小路実篤記念館、郷土博物館のPRが弱い

今後増える古民家の活用。映画のロケ地に 芸術家を支援するアトリエ等に

実篤記念館のホームページで、学習サポートが充実している。

調布の歴史を語る発信基地が欲しい  
・郷土博物館(小島町)を表舞台(中心地)へ  
※「歴史(今まで)」を理解し「未来(これから)」について市民が未来を語りあえる場に

歴史文化が、郷土資料館の中におさまってしまいコンテンツ化されていない

郷土博物館のSNS等を市民に知ってもらうきっかけが必要

多種多様な文化イベントの周知方法が、現代のニーズに合っていない。

たづくりの展覧会は絵本の原画展やレゴブロック、廃材を使ったアートなど、大人から子どもまで楽しめる展示が充実している

調布市の歴史を市外の人に興味を持ちにくい  
→市内の人に向けて再発見させることも必要

何世代も住んでいる地主とのコミュニティ(小さな歴史)

昔からの商店(小さい歴史)→調布の歴史を+αで関連付ける

子どもの文化芸術体験のための機会を創出すること。家庭環境に例えば、横浜市やさいたま市で行われているような「アーティストが学校へ」など。

## 平和・国際交流

サウジアラビア（ホストタウン）の交流事業が豊富

外国人にわかりにくい案内

国際交流協会を活かしていない

多言語化，やさしい日本語

多文化共生を進める必要がある

ピースメッセンジャー

ラグビーワールドカップの盛り上がり

国際交流協会での外国人支援

アメリカンスクールがある

平和都市宣言

広島市に加え，長崎市との交流

## 映画のまち

映画の町の活性化・市民が関わる活動が少ない（知られていない）

聖地巡礼・ロケ地

「映画のまち」に市民参加ができるような発信をもっと

至るところで撮影が行われれば。市民エキストラを活用

映画館ができた

映画の存在を観光だけではなく，文化や生涯学習の面からも活かす方法があるのではないか

国内有数の映画スタジオが市内にあり、ロケ地として利用されている

ロケ地に立て看板とかあれば

高校生フィルムコンテストのクオリティが高い→「映画まち」という視点で広めていく

視覚的なPRが弱い。（映画のまち感が弱い）  
→立体的な看板とか

図書館では貴重な映画資料（台本，ポスターなど）を多数所蔵している。



## 目指したい姿

● : 2つ以上の意見

- ・見る、知るだけでなく、体験できる歴史文化のコンテンツにしたい⇒観光資源になれば一石二鳥、市に愛着も沸く
- ・市内の歴史の保全、発信
- ・歴史文化をつむいでいけるまちづくり
- ・市民が使える場所がもっと増えてほしい
- ・個人の芸術活動を気軽に展示できるような場があれば
- ・芸術文化も体験できることが必要。「自分たち」が体験、表現できる場所
- ・そのサイトを見ればなんでもわかるようなサイトがあれば。
- ・「映画のまち」を調布の代名詞レベルにできれば

## 強み

- ・一里塚とかが残っている
- ・ギャラリーが点在している（公民館やたづくり）⇒芸術に触れる機会がある

## 弱み

- ・調布の歴史のPR、広報費用にもっと力をいれたほうがいい
- ・市民がホールを使いにくい（抽選が当たらない）
- ・サークルガイドブック（アナログ）にアクセスしにくい（いつの情報かわからない）⇒ネットで探せたら良い。サイトも含めて存在が知られていない。
- ・いろんなコンテンツが一元化されているサイトがあれば。

● : 2つ以上の意見

産業

大規模企業(法人税収に大きく寄与するような)の不在

市の資源として市内民間企業の活用、連携を行う余地がある

デカ盛りやOh!辛チャレンジ, ワンコインナイト, じゃぱんウォークラリーなど, 市内飲食店をPRするイベントの種類が豊富。

デカ盛りなど時代とそぐわない(持続可能性の課題との関係)観光コンテンツの存在

いろんな団体がイベントを主催している

企業誘致できるインフラ設備が弱い。  
・オフィススペースの充実・イノベーションセンターの設置(スタートアップ企業の支援、市・学校・企業の連携強化)・テレワークがしやすい場所に

JAXAをはじめとする研究機関が集積している

映画, 映像関連企業の立地

ホッピーの会社

多くの人が訪れる駅前エリアの地価が上がるなどして個人商店・飲食・団体が活動しづらくなっている=街の色になる個人の顔が見えづらくなっている

飲食店とのイベントの在り方をコロナ禍で考えなくてはいけないと思う。テイクアウトのスタンプラリーにするなど。

参加する人がたくさんいる

調布市商工会・観光協会等(イベント等主催者)の存在(積極的な主催者)

創業・起業支援, 経営支援(強み?)

調布市を象徴する産業がない。但し第一次、二次産業よりも、現状の調布市の強みを生かすサービス業等第三次産業に力をそそぐのが本筋

まちゼミ(商店街の店主が講師となり, プロならではの専門知識や技術を無料でお伝え)

個人商店(飲食店)や個人・団体の活動が残っており, 街の色として楽しむことができる

市のイベントポスターが, 電車やバスで見られない。

事業継承, 跡地・居抜き後の活用(深大寺等)

起業にチャレンジしやすい文化づくり

商店街の規模が小さい, 繁華街としての魅力が少ない。(大規模店舗に客がとられている)

店舗を持たない自営業者が増えている。また, 小さなワークショップがInstagramで多々開催されている。行政でもキャッチアップしていくべき。

マルシェが次々と中止になっている

農業

体験の農業場の新規開設が伸び悩んでいること

木島平村の市民農園

野菜の直売所が市内のあちこちにある

農業経営者支援

農地・緑が十分にあり街と憩い両方を楽しむことができる

市民農園や農業体験など市民と農業をつなげることで取りくみが豊富

市内スーパーに既に調布産野菜が販売されている

農業において, 少量多品種, 高付加価値品目の生産を行っていること

農地を手放す人の増加(可能性)

荒廃している農地も散見され資源の無駄になっている

調布の農作物直売所マップはよくはけている印象。市民は調布の野菜に興味を持っていると思うが, もっとPRしても良いのでは

生産緑地制度というものがあると思いますが, 知識が乏しく課題を理解していません

生産緑地が年々減少し, 住宅地へと転用されていること。

● : 2つ以上の意見

デジタル化

防災・フェイズフリー

農地, スポーツ施設, 多摩川河川敷等の広大な土地を災害時の避難所や廃棄物の集積所, 仮設施設の設置などに転用することが検討できる。

余剰農地を臨時避難場所としてできるように整備しておく(農地の倉庫にテントを非常用に備蓄など)

イベントで使っている駅前広場の存在→災害時の活用

イベント時に起震車の体験ができれば

避難訓練の強化・市民に行動を促す施策(ポイント還元)。

その他

多くの人が訪れる駅前エリアの地価が上がるなどして個人商店・飲食・団体が活動しづらくなっている=街の色になる個人の顔が見えづらくなっている

飲食店とのイベントの在り方をコロナ禍で考えなくてはいけないと思う。テイクアウトのスタンプラリーにするなど。

姉妹都市木島平村との交流

中心市街地に旧街道の道幅や区画など風情が残っており、時系列での訴求もしやすい、現代なりの発展のさせ方ができる

フードドライブの実施

高校生フィルムコンテストのクオリティが高い

事業継承、跡地・居抜き後の活用(深大寺等)

区域ごとにわかりやすい特徴がありPRしやすい

都市農地の将来的な活用について、貸したい人と借りたい人とをマッチングさせるアプリやサイトなどを活用または開発支援をしてデジタル化を進めていく

電気通信大学, UECアライアンスセンターがあること

電気通信大学の存在。(電気通信大学とのタイアップ, 卒業生の企業支援, 市との連携を条件に優遇措置を行う等で同大学の立地の利を最大に享受できる)

多言語情報サイト

市で使えるポイント施策を展開する<ポイントを付与する事案>・市の活動へ参加(ボランティア活動, 避難訓練, イベント, 介護, 教育, 環境美化)

市のものは無難なサイトが多くなる可能性

行政の信頼性と民間だからできることの融合・横の連携(役割分担)

価値ある昔からの個人商店にデジタルを活用→利用促進

次世代スマートシティ構想を調布市で例: <https://fujisawasst.com/JP/town/>

キャッシュレス化対応支援  
個人商店等希望する人へのGooglemap等情報プラットフォームへの情報掲載支援

VRで調布観光ができるようになったら面白いのでは

市内各部署が連携することでイベントはもっと面白くなると思う。デジタル化による情報共有がカギになりそう

SNS関連の活用(市内イベントの広報)

観光協会の公式HPなどで市内の見どころを発信しているが、受け身の発信になっている→市内の施設・店舗に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないか

調布市産の野菜を購入できる場所が認知されていない→調布市産の野菜を購入できる場所市内のポータルサイト等に掲載

SNSでのPRもしているが、影響力(フォロワー)が乏しい→市内の施設・店舗に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないか

オンラインを活用した取り組み

## 目指したい姿

- ・京王沿線（多摩地域）の一番のまちにしたい（なにかするなら「調布」）...買い物しやすい等
- ・副業（複業）として調布で起業できるようなまち
- ・チャレンジしたい人がチャレンジできるまち
- ・隣の人のお手伝いが仕事になるようなまち・人のチャレンジを応援できるまち⇒やってみようと思える
- ・まちのなかに「出番」がある
- ・つながりが広がっていく
- ・起業の場所として調布を選んでもらえるようなしかけづくり
- ・がんばっているひとがクローズアップされて、発信できれば、誰かの応援もできる、自分の出番がつかれる

## 強み

- ・お店がたくさんある
- ・おいしいものがたくさんある
- ・調布市産の野菜

## 弱み

- ・都心で働く人がおおい
- ・起業の場所として調布を選んでもらえるしかけがない
- ・特産になるような野菜がない⇒加工品が特産品につながる他市事例も。
- ・農業体験について市のバックアップ

● : 2つ以上の意見

観光振興

東日本最古の国宝仏がある深大寺が都内でも代表的な観光スポットとなっていること

深大寺周辺の景観が美しい

深大寺・佐須地域の里山・水辺環境があること。

「深大寺」を中心とする歴史ある神社仏閣

深大寺までの交通がバスのみ

深大寺だるま市

深大寺, 調布駅前商業施設等の集客を見込める資源の存在。

姉妹都市の木島平村との交流がある  
(近い距離の姉妹都市)

大規模花火大会の開催

木島平村のアンテナショップを魅力的に

文化資産が多い(寺、神社、スポーツ施設etc..)

観光資源が豊富(鬼太郎、映画のまち、自然、実篤など)

若者うけする観光名所が少なく感じてしまう

観光資源を利用するのみで、魅せる取り組みが不足している

それぞれの目的を持って調布に訪れた人に対し、他の調布の資源をうまく活用してもらえていない。(例: 味スタに観戦に訪れた人に、深大寺観光を促したり、調布市内の飲食店利用をしてもらうような取り組みが少ない。等)

シアタス調布があり、映画のまち調布としてロケツーリズムや各種イベントを推進していること。

ロケ地マップ、聖地巡礼マップ

つげ義春の漫画の舞台である

水木マンガの生まれたまちであること。

映画ロケの活動, 水木しげる漫画等のソフト面での観光資源の存在

シェアサイクル

布多天神社, 西光寺, 國領神社 (千年乃藤)

神代植物公園

近藤勇の史跡

国指定史跡が2つもあること  
(下布田遺跡・深大寺城跡)

限定実篤チョコが人気。毎年、話題で、すぐ完売。

観光資源はあるが、広報が不足している。

PRが不足している? 武者小路実篤記念館の「たこさんウイナー」ツイートはバズったが、公式ツイートはあまり盛り上がっていない気が

市民視点の観光も考えていく必要

観光PRを行政に任せっきりになっている

調布市観光ナビ内のリンクがたまに切れていて勿体ない

観光は「深大寺」「映画撮影所」「多摩川」「グルメ」等単体ではなくパッケージ化で強化する

## 目指したい姿

- ・わくわくするようなイベント, コンテンツがあればよい
- ・市民だけのイベント...市民に向けた, 市民がわくわくする観光⇒市外の人に魅力を伝えたい
- ・コンテンツを楽しんでもらえるように, 体験コンテンツ化
- ・観光と飲食をつなげることで誘致に。コンテンツと飲食をつなげる (コラボメニューとか)
- ・調布に人が滞在して, お金を落としてくれるような...
- ・調布のおみやげをもりあげていく
- ・わくわくできる資源を掘り起こしていきたい

## 強み

- ・商店街や深大寺などそれぞれのところでお祭りをやっている (連携もしている)
- ・商店街のイベントに補助金を出している
- ・コンテンツはたくさんある
- ・デカ盛りのイベント。地場の飲食店だからこそできるイベント
- ・個人店が多い
- ・京王線沿いで居酒屋がおおい街上位

## 弱み

- ・大きいお祭りがない
- ・散歩のついでにいけるカフェ, 名物になる「食」が弱い
- ・ロケ地マップに飲食を紐づける
- ・調布みやげを盛り上げていく⇒調布「全体」でいいものをつくっていく
- ・調布のおみやげを発信していく
- ・ふるさと納税で目玉になるようなものがあれば



● : 2つ以上の意見

防災・フェイズフリー

調布駅前広場など、フェーズフリーが適用されてはいないが、実際に市民に災害時のシュミレーションをしてもらうための防災デー（市民100人が実際に駅前広場でテントを張って宿泊してみるなど）を設ける

文化施設は市内に点在しており、市民にとっても身近な公共施設だが、老朽化が心配。一時避難スペースになり得るか疑問。

深大寺や植物園の保全

デジタル化

図書館で電子書籍の貸出しを進めていくのも需要があるかもしれません。

経験が豊富な人とのつながり（例えば映画の撮影に携わった人とのつながり）を活用

市内の文化財・芸術に関わる市民のSNS投稿を活用してPRすれば特定の機関の稼働を上げずに発信力をUPできるのではないか  
→行政などの信頼されている機関が取りまとめて発信

オンラインを利用して市の歴史文化や、芸術の資源の発信がうまくできれば、コロナ禍においても接触する必要がないビジネスが確立できるのではないか

オンラインを活用した取り組み

生涯学習主催者と参加者のマッチング（アプリ等の活用）

利便性・インフラ（ハード）

徒歩・自転車で移動できる面積範囲に、歴史・文化、スポーツ・エンタメ、商店、緑・農地などの要素が揃っている

力強い交通インフラ...「京王線」「中央自動車道（調布IC）」

都市（新宿、渋谷）に近く、人を呼び込みやすい立地

都心からのアクセスの利便性

自転車や徒歩などで安全に通行できるルートの検討

坂道が多い。南北。

シェアサイクル

市内駅周辺の再開発が進むが、店舗や施設のコモディティ化により、個性がない（よくある街の風景）

自然と人々の暮らしが融合した調布駅前エリアの整備※今後も引き続きインフラ整備は調布市の中心である調布駅前エリアの充実を集中的に行うことが好ましいと思います

大規模イベントが可能な駅前広場の存在

豊かな自然を持ち素晴らしい景観の「多摩川」

自然資産が多い（多摩川、公園etc..）

東京の島（三宅島、神津島等）と飛行機で連絡する唯一の飛行場...調布飛行場（東京都保有）

調布飛行場の安全対策、厳格な運行管理、騒音  
H27の墜落事故を重く受け止め安全管理の徹底や改善の必要性

起業支援についてハード面（ハコ）を用意することで起業しやすくなるのでは